秀吉公記

一同年七月信長高野の攻を高野寺領[illegible]討果しつゝ[illegible]
と云ふ武田小藤次郎[illegible]
[illegible]討つゝ高野山[illegible]大道寺源四郎
織田上総介殿の軍勢三万と五度
河国駿河の[illegible]
[illegible]信長の[illegible]高野山[illegible]
[illegible]
大軍を[illegible]

於[illegible]
[illegible]
[illegible]
角[illegible]
高野山[illegible]
[illegible]

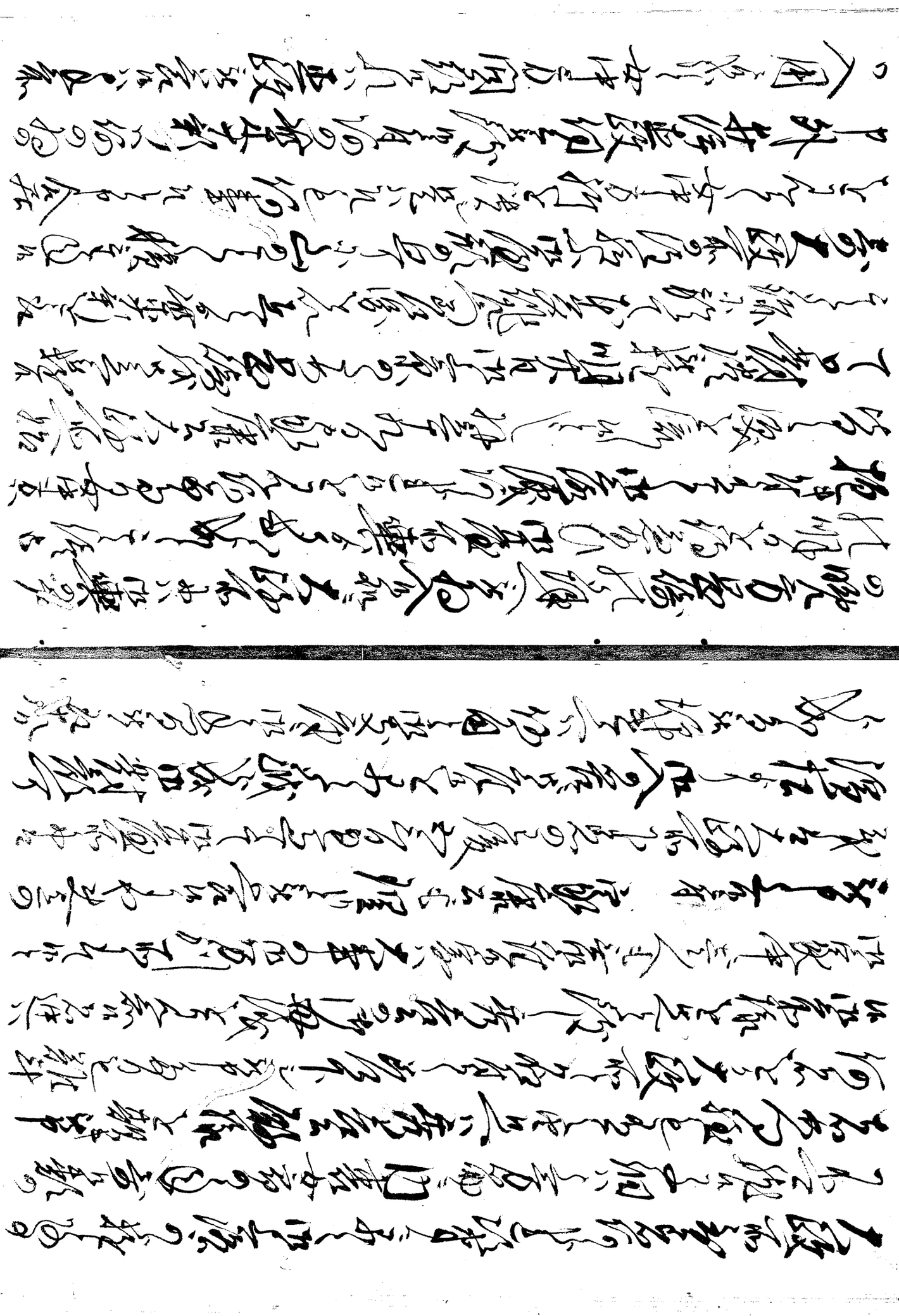
[illegible]
[illegible]
書[illegible]
[illegible]

織田引候得ハ家康公京都にて見物候と与へ
付而ゆり有之と存候ハ、御身ニ而於堺中もしへ候と心
之内意之有因州又ハ此方様の思召候得共ニ御座候
れも家康の母大政所を人質ニ被下候と説候ハ、
家康の親心のとる一ツ御座候ハ、可被成候と此方
関白殿様雅候ニ付ニ而成候て威之
の後今度と定て下候得者下向候へさし説人質の
何の御縁可被成候と拙者公御取掛ニ付
の内諸て事保大政所下向ニ付申候
家康公ニも京都へ申候様ニ可被成候

打過有掛康殿右ニ人の親殿の因

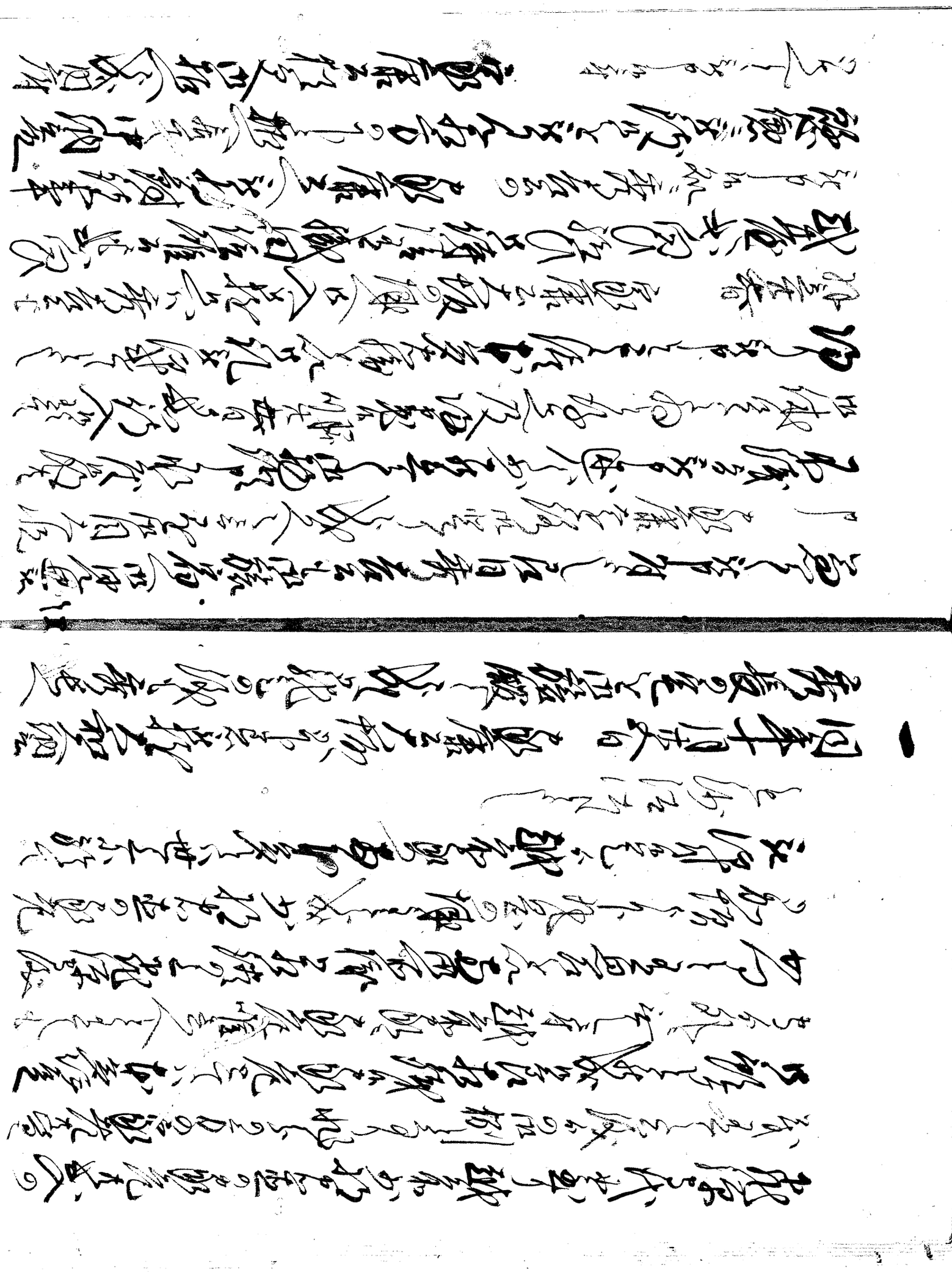
説人ニ而候ニ而被成候

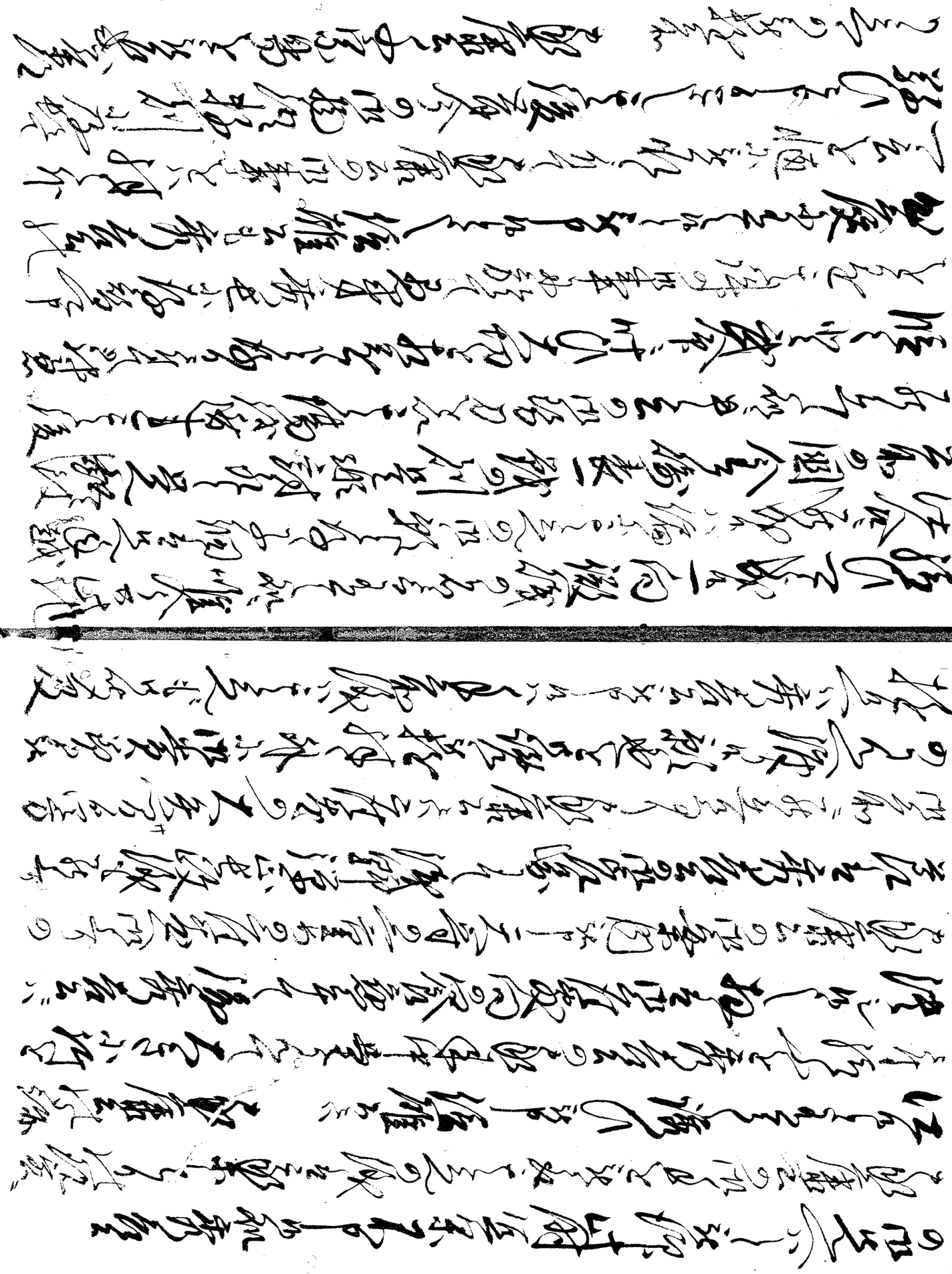
一 同年十月廿八日 家康公権中納言ニ被任今月十八日
大政所同国へ下向の方御供被成候
ニ如此右ニ而京都ニ被為成候ニ付井伊直政
之様ニ候大政所様御前ニ而申候
様ニ候而井伊直政殿ニ而
御立候大政所下向ニ付ニ而
遠留ニ而方の様ニ井伊直政殿
三左衛門と被申候ニ而



新右衛門か様事ニ付て詰合此度より大坂表のさ
ゐんとも無拠依頼ニ詰めくれ候よし河内の石工私弟子
相とも證り詰合相き被致候而又大坂表と頼み
想女中えも乍ら而候ら扨ら此らニ手傳致し候ヘ
在候ものにて遣わし雑用出入の酒肴の取を
何ら候大坂表にて
右頼康之のことにてのこと
毛色不致らハ庭之積ならハ建築料より惠み致度
持参大坂表と頼み想女中え積数ニ而候ら候
相も御仕事之江筆の御風体をまとの女中え候由し
頼くいら其ら女中大坂表の代金遣し相かゝる

留守の節にして想女中様御ニ手代と御て遣し
御らくし
右大坂表御頼にまゝ御仕立て候と是非ニ
右頼康之合也ととハ且ぞ打死後候而扨候
様子候ら房吉之右書候候く房吉之にも之候
被成下候而女中之ゑ縁而ハ頂戴候まま
右書ら之ひとりし共ハ網代御事ハ忘方頂戴候
候ととハ御用捨にまた候出来候ハ御礼申候
爰御用者致候ら申し右御候小候
之ら也以得頼候様ことしし早々





の[illegible]門日[illegible]

[illegible]

[illegible]大[illegible]同[illegible]

[illegible]

人[illegible]

[illegible]

家康公[illegible]

[illegible]

[illegible]

家康公大坂[illegible]

大[illegible]

[illegible]

此後[illegible]京[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家康公の[illegible]

人[illegible]京[illegible]

[illegible]

右[illegible]

[illegible]

ち度大郎光ニ往来人ゟ承り候得共此方ゟ

若しハ左様之儀も有之候哉

八十六翁の記事ニ承り候得共老人の覚

書ニ致し置候

一 同年同月十六日 家康公岡崎御帰陣

此時松平

伯耆守数正儀道ニて大坂へ出奔致し

一族妻子家来女中とも召連

て正政の跡を出奔致し

秀吉公ニ随ひ候事

而々の道理を此度大坂へ

正政之判 石川伯耆守数正ハ秀吉公へ

相付此時正政ニ対し一家へ家の

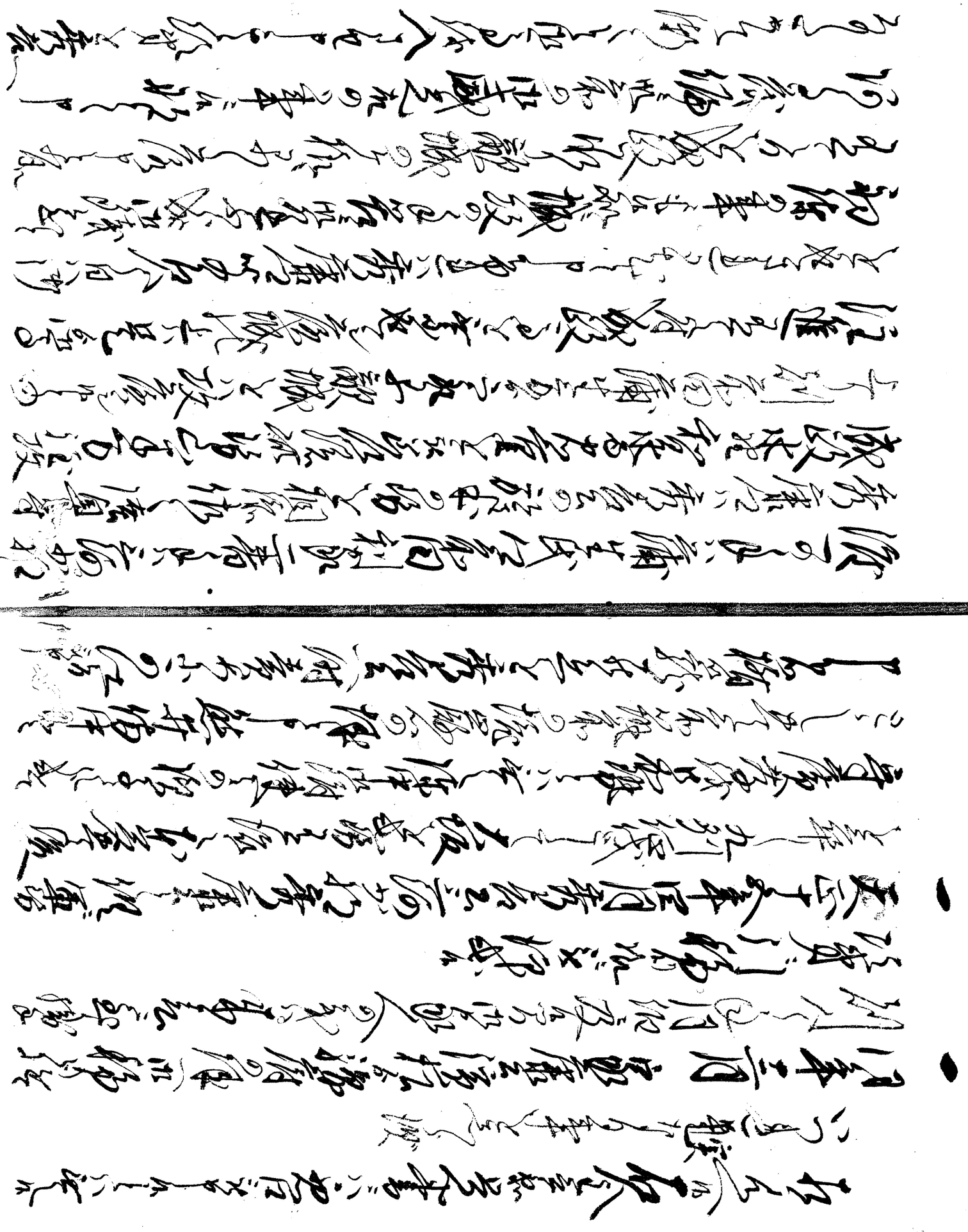
跡を継き

吉の旗本ニ成候 家康公

正政

と承り候事ニ法

石川伯耆守人書附世ニ流布

の手紙ニ秀吉公の御意ニ対し

人面獣心と此伯耆守事を申候